

理事長挨拶

アジア協働大学院（AUI; Asian University Institute）推進機構は、国民国家ベースではない、国際条約による、アジア地域協力人材育成のための博士課程を中心とした地域大学院大学の設立を目的として、オールジャパンの有志によるボランティアな政策提言組織として、2013年6月7日に設立されました。

アジア地域は世界の成長センターとして目覚ましい経済的飛躍を遂げ、今やグローバルアジア（Global Asia）とよばれるようになりましたが、環境汚染や経済的格差などの様々な問題を抱えています。また、日本と韓国、中国との関係は、歴史問題や「領土問題」などをめぐって対立を続け、21世紀のグローバルな世界における良好な関係とはほど遠い状況が続いています。



果たしてアジア地域は今後も成長を続けていく事ができるのでしょうか。アジアは地域として協力し、持続可能なアジア社会を構築し、持続可能な地球社会の形成に積極的に寄与する事ができるのでしょうか。今、アジア社会は大きな岐路に立っているのではないのでしょうか。

少子高齢化が進む日本は、2011.3.11の東日本大震災と福島原発事故で大きな被害を受けましたが、同時に日本社会における絆（きずな）の大切さや国際社会の支援の意義を再確認する契機ともなりました。しかし、被災地は未だ復旧復興の途半ばであり、特に原発事故を抱える福島復興の道のりは長く険しい茨の道となっています。

2020年の東京オリンピック開催が決まった今こそ、「福島の復興なくして、日本の再生なし」という福島復興再生特別措置法の理念を踏まえ、2020年までに福島復興を成し遂げるべきです。そのためにも、成長のアジア地域と手を携えた復興政策を具体化することが不可欠です。

こうした震災復興のためにもアジア地域協力を推進する事が重要で、今後のアジア地域協力の進展のためには、**Out of the Box**な発想と行動ができる地域デザイン力のある人材育成を、地域が協力して行う事が必要だと考えています。

そのためには、従来の発想にはない、新しいアイディアとコンセプトに基づくアジア地域の知的プラットフォームを、22世紀へ向けた持続可能なアジア地域の構築を可能とする文理社会協働による総合知の共創という原則で、アジア協働大学院（AUI）大学として設立する事が、最も有力なアプローチであると確信しています。

アジア社会の経済力があり、日本が知的貢献をなしうる今こそ、国際条約に基づくアジア協働大学院（AUI）大学を設立し、日本社会の再生と持続可能なアジアを実現し、持続可能な地球社会の形成に積極的に貢献すべき秋（とき）です。

高い志（こころざし）を持った日本とアジアと世界の皆様のご協力で、早期にアジア協働大学院（AUI）大学を設立し、皆様と一緒に希望の持てる未来のアジア社会を実現させたいと考えています。引き続き、アジア協働大学院（AUI）推進機構へのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

松岡 俊二
2013年10月24日